

整形外科で入院治療を受けられる患者様各位

日本整形外科学会症例レジストリー構築について

#### 「背景」

日本整形外科学会が対象としている運動器疾患は、小児から高齢者まで国民の幅広い年齢層が罹患し国民の健康寿命を損なう主因の一つです。特に移動能力が低下し、要介護の危険性のあるロコモティブシンドロームは推定 4700 万人とされています。この領域の国内年開手術数は 120 万件を超えておりますが、更に年々増加の傾向にあり全国規模のデータの構築が存在しないと全容が不明のままとなってしまいます。

#### 「目的」

大規模運動器疾患データベースを日本整形外科学会で構築する

- 1) 運動器疾患に対する手術治療に関する大量のデータに基づいたエビデンスの構築
- 2) 新規医療技術の評価 等
- 3) 人工関節、骨固定材料などの種々の体内埋込型インプラント用いた手術が多く、その実施状況の把握は、国民健康向上に加え医療経済にも重要である。

#### 「方法」

匿名化した患者 ID で、性別、生年月日、医療機関コード、疾患情報、手術日、手術時間、麻酔時間、手術概要、術者情報、治療成績（改善・不変・悪化など）などを入手。

#### 「データ登録・管理」

基準を満たした手術に関する情報をインターネット上のシステムに登録する。

上記内容を 2020 年 4 月 1 日から実施する所存です。

本文面を読まれ、内容にご不満をお持ちで同意されない場合は整形外科担当医へ御連絡をお願い致します。

2020 年 3 月 1 日

文責 整形外科・副院長 加藤雅也